

令和2年度 第5回 横浜市介護保険運営協議会 議事要旨	
日 時	令和3年3月25日（木曜日） 14:00～15:05
場 所	横浜市役所18階みなと123会議室
出 席 者	山崎委員（会長）、小林委員、辻委員、西田委員、柳井委員、山岸委員、山口委員、谷村委員、中村（美）委員、小倉委員、佐藤委員、杉山委員、長場委員、中村（香）委員、山田（真）委員、吉田委員 計16名
欠 席 者	小園委員、山田（初）委員、延命委員、武安委員 計4名
開 催 形 態	公開（傍聴者2名・報道関係者0名）
議 題	<p>1 議題</p> <p>(1) 介護予防・日常生活支援総合事業のサービス価格の改定について</p> <p>2 報告</p> <p>(1) 第8期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画（よこはま地域包括ケア計画）について</p> <p>(2) 第8期介護保険料について</p> <p>(3) 横浜市介護保険事業の状況について</p> <p>(4) 令和3年度の主な予算について</p>
議 事	<p>1 議題</p> <p>(1) 介護予防・日常生活支援総合事業のサービス価格の改定について （事務局）「資料1 介護予防・日常生活支援総合事業のサービス価格の改定について」を説明。</p> <p>（山崎会長）ただいまの説明について、質問、意見はあるか。 （委員からの意見・質問等なし）</p> <p>（山崎会長）特にないようなので、介護予防・日常生活支援総合事業のサービス価格の改定について、本会として了承する。</p> <p>2 報告</p> <p>(1) 第8期横浜市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画・認知症施策推進計画（よこはま地域包括ケア計画）について</p>

(事務局)「資料2-1 第8期計画」「資料2-2 第8期計画概要版」を説明。

(山崎会長)単なる計画に留まらず、白書として利用できる、内容豊かな価値のある資料になっている。

(山崎会長)ただいまの説明について、質問、意見はあるか。

(委員からの意見・質問等なし)

(2) 第8期介護保険料について

(事務局)「資料3 第8期介護保険料について」を説明。

(山崎会長)ただいまの説明について、質問、意見はあるか。

(委員からの意見・質問等なし)

(3) 横浜市介護保険事業の状況について

(事務局)「資料4 横浜市介護保険事業の状況について」を説明。

(辻委員)資料p.69 2つ目の・に、本市人口は2019年をピークに減少に転じると書いてあるが、これは事実か。

(事務局)2019年をピークに減少に転じている統計となっている。

(柳井委員)コロナ禍で家族等にも会えず、認知症が進むこともあるのではないかと。コロナ禍であっても、高齢者の重度化を遅らせるために、できることがあるのではないかと。お考えがあればお聞かせ願いたい。

(山岸委員)若葉台団地(旭区)は全国平均に比べて要介護認定率の割合が10年以上低い。コロナ禍であっても、地域にある公園、施設などの資源を活用しながら、家の外に出た活動に取り組んでいる。もちろん、人と人の距離をとることや、マスク着用といった基本的な感染予防を徹底したうえで実施している。コロナ禍の中でも、様々なツールや機会を活用しながら、一人で困らないで、前に進んでいくことが必要だ。

(事務局)1つは認知症の方について、医療機関でクラスターがでていところもあり、面会は原則禁止になっている。そうした中で認知症の方が入院することによって、だんだんADLが落ちていく、あるいは認知症が進行していることが見受けられた。また、施設に関しては、原則面会禁止となっている。テレビ電話を使う、専用の面会室を設けて入念に消毒して短時間面会をするといった取組を行い、不自

由な中でできる限りのことを行っている医療機関・施設もある。もう1つは、山岸委員からお話があったように、在宅でお住まいの方が、なかなか外に出られないことによって、状態が悪化するといったことも見受けられている。本市としては、家の中で体操する、あるいは、短時間の見守りをする、電話で状態を確認するという取組を地域の中で進めている。今は現状でできることを行っていきたい。

(杉山委員) 同じく、コロナ禍で高齢者の筋肉が低下し歩けなくなったり、誰とも会話せず認知症が悪化したりした例をたくさん見た。黙って一人だけで過ごす状態が続けば誰でもそうなると思う。高齢者が体調不良となった際、なかなか病院に行かず状態が悪化し入院が必要となった例や、介護者も感染リスクを踏まえ病院になかなか行けず病気が悪化した例などもあった。山岸委員がおっしゃったように、外に連れていくことができれば一番良い。

(柳井委員) 人との出会いの貴重さが改めてわかる。このコロナ禍の中で、ワクチンも一つの方法だとは思いますが、例えばワクチン接種済みの方を中心に行動を起こすなど、何らかのアクションを打ち出せたら良い。

(山崎会長) ワクチン接種の大まかなスキームは。

(事務局) ワクチンの供給状況については、各自治体で異なるため、順次お知らせをしている。今の予定では、4月中に高齢者施設の利用者をまず優先して接種を始める。高齢者については、5月の中旬ごろから接種を始める予定で、年齢ごとに分けて、4月の下旬に75歳以上の方に2回に分けて接種券をお送りする。65歳以上、75歳未満の方については、5月の中旬に2回に分けて接種券をお送りする。基本的には、この接種券がないとワクチンは受けられない。2回受けていただくことになるが、供給されるワクチンについては、同じ会社のものを2回打つ必要があるため、ご注意願いたい。今のところは集団接種から、各区で1か所から2か所程度、スポーツセンターや公会堂で、週何日か実施していく予定。そのほか、病院や一般のクリニックでも接種できるように調整を進めている。こちらは、個別接種といわれる対応になるが、詳細については、今のところだと6月頃になる見込み。医療従事者の接種についても進んでいないところがあるため、そういった状況も踏まえながら会場等検討し、もう少し状況が決まったら別途ご案内をさせていただく。

(佐藤委員) 通所介護及び通所リハビリテーションが全国平均を下回っているとのことだが、詳しく教えていただきたい。

(事務局) 通所介護に関しては、横浜市は支給額が少ないが、もう一つ右側の地域密着型通所介護は全国平均よりも上回っている。特に、通所介護が低いから通所介

護に通えないという相談は確認していないので、必要な量は確保できていると考える。

(4) 令和3年度の主な予算について

(事務局)「資料5 令和3年度予算概要(高齢福祉関係抜粋版)」を説明。

(西田委員) 高齢者の社会参加について、敬老パスについてお伺いする。今年度、拡充することで予算額について、約10億分がこの敬老パスに追加されることになるが、その予算の内訳として、IC化等に係るシステム構築に大きく使われると思う。そもそも、敬老パスは、利用実績の把握を明確にして、元気な老後を実現するために何か施策をするということなのか。

(事務局) 敬老特別乗車証については、いろいろと課題がでてきており、現在の仕組みの是非も含めた検討を昨年度から進めてきている。将来的にこの制度を持続させていくためには、今の実態を把握する必要性が高いと考えており、データをもとに今後の制度あり方にも検討の中で活かしていければと思っている。このため、令和3年度は、ICカード化に取り組み、利用実態の把握に努める。

(山口委員) もしも手帳について、すべての市民と書いてあるが、何歳から対象となるか。

(事務局) もしも手帳は、目安としては、65歳以上の方としているが、将来に向けて考えるきっかけにさせていただいている。

(山口委員) 要介護認定の拡充について、申請から何日間か待たされることがあったが、今後は段階的に短縮していくということか。具体的にはどのくらい短くなるか。

(事務局) 認定事務センターについては12月から運営を開始しており、統計的な実績はまだとれていない。法定の日数としては30日ということになっているが、現時点では40日を超えている状況であるため、目標としては、法定の日数に近づけるように努力していきたいと考えている。また、認定事務センターの実績については、統計データが出次第ご報告させていただきたいと考えている。

(西田委員) 濱ともカードについて、どういうところで利用できるのかというそもそもの周知が不足していると感じる。また、サービスの中身についても、高齢者が利用しやすい内容を検討していただきたい。例えば、大盛無料などは、高齢者にとってあまり好ましくない。ワンコインランチがあればとても良い。サービスの継続

	<p>についても、高齢者が生活の中で何を優先しているかという点を踏まえながら拡充を図っていただきたい。</p> <p>(事務局) 周知については、引き続き努めていく。高齢者にとって使い勝手のいいサービスを検討していきたい。</p>
資 料	<p>資料1 介護予防・日常生活支援総合事業のサービス価格の改定について</p> <p>資料2-1 第8期計画</p> <p>資料2-2 第8期計画概要版</p> <p>資料3 第8期介護保険料について</p> <p>資料4 横浜市介護保険事業の状況について</p> <p>資料5 令和3年度予算概要(高齢福祉関係抜粋版)</p> <p>資料5(別紙) 令和3年度の主な予算について</p>
特 記 事 項	<p>今回は、令和3年6月頃の開催予定。</p> <p>開催場所等詳細は、後日お知らせ。</p>